

国立大学法人京都教育大学

平成20年度 決算報告書

平成20年度 決算報告書

国立大学法人京都教育大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	3,944	3,944	—	
施設整備費補助金	589	601	12	(注1)
補助金等収入	28	28	—	
国立大学財務・経営センター施設費交付金	25	25	—	
自己収入	1,141	1,171	30	
授業料、入学料及び検定料収入	1,104	1,126	22	(注2)
雑収入	37	45	8	(注3)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	115	137	22	(注4)
目的積立金取崩	110	71	△39	(注5)
計	5,952	5,976	24	
支出				
業務費	4,318	4,341	22	(注6)
教育研究経費	4,318	4,341	22	
一般管理費	877	767	△110	(注7)
施設整備費	614	626	12	(注8)
補助金等	28	27	△1	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	115	142	27	(注10)
計	5,952	5,903	△49	
収入－支出	0	74	74	

○予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、事業の追加実施により、予算額に比して決算額が12百万円多額となっています。
- (注2) 授業料、入学料及び検定料収入については、在籍者等の増のため、予算額に比して決算額が22百万円多額となっています。
- (注3) 雑収入については、主として科学研究費補助金の間接経費の受入増により、予算額に比して決算額が8百万円多額となっています。
- (注4) 当初予定していなかった事業について委託を受けたため、予算額に比して決算額が22百万円多額となっています。
- (注5) 当初予定していた目的積立金による事業について、競争入札の実施等により経費節減に努めたため、予算額に比して決算額が39百万円少額となっています。
- (注6) 教育研究経費については、教育施設修繕経費の増により、予算額に比して決算額が22百万円多額となっています。
- (注7) 一般管理費については、主として役員退職手当の減が生じたため、予算額に比して決算額が110百万円少額となっています。
- (注8) (注1)に示した理由により、12百万円多額となっています。
- (注9) 大学改革推進等補助金による事業について、当期受入額に満たない支出額により事業を完了することができたため、1百万円少額となっています。
- (注10) (注4)に示した理由及び、前年度以前に受け入れた寄附金を使用したため、予算額に比して決算額が27百万円多額となっています。